**新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応及び留意事項について（事務局用）**

**【研修準備】**

　・受講決定通知書、講師依頼文発送時に、「新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応及び留意事項について」「研修参加同意書」を同封

　・受講者名簿を作成し、管理（氏名・連絡先）

　・アルコール手指消毒剤、マスク予備、フェイスシールド（受講生・講師・事務局分）、キッチンペーパー、ティッシュペーパー、ごみ袋、使い捨て手袋、体温計　等を準備

**【人との距離の確保】**

　・演台にアクリル板を設置。

　・受付やトイレ等で行列ができた際には、間隔を空けた整列を促す。最低1m。フロアマーカー可能なら設置。

　・退場の際、時間差を設ける

　・受講者の座席を互い違いにするなどし、距離を保つように設定。その時の行政から示されている収容率を踏まえる。

　　（状況によっては会場変更する。定員削減の可能性もあり。）

　・受講者同士がすれ違う事の無いよう、可能な限り入口と出口を分ける。

　・グループワーク時は対面を避ける

**【運営者のマスク着用と手指の消毒等】**

　・マスク、フェイスシールドを着用の上運営を行う

　・こまめな手洗い、手指の消毒

**【消毒】**

・入場前／１日の講義終了後

　→　机、椅子、演台、ドアノブ、操作盤、穴あけパンチ等の共有備品、照明のスイッチ、

マイク、PC、マウス、レーザーポインタ　等

・休憩時間の前後 →　ドアノブ、穴あけパンチ等の共有備品　等

・講師が変わる都度 →　マイク、PC、マウス、レーザーポインタ、机、アクリル板　等

・使用の都度 →　体温計、マジックセット　等

**【換気】**

　・常に換気扇を回す。基本的に窓は開けた状態とする。

難しい場合は30分に1回程度、数分、２か所以上開け、空気の通り道を作り換気。

**【受講生への啓発】**

受付時

　　・「研修参加同意書」を提出いただく。

・各日、最初の講義開始前の入室前、非接触型体温計で検温を実施。体調問題ないか確認。

平熱より１℃以上高い場合は接触型体温計で再度検温。

初日オリエンテーション時／随時

・マスクの装着。不織布製。飲食時以外は常にマスクを。鼻までしっかり覆うこと。

マスクを外しての会話は絶対に避ける。

・グループワーク時にはフェイスシールドを装着。

・こまめな手洗いや手指の消毒。

・手指衛生に留意し、目や鼻、口に不用意に触れない。

・換気を行うので各自で温度調整できるように。

・他の参加者等との間隔は極力密にならないように。

・食事の際はグループを作らず、会話は控える。研修後の交流会や食事会等の開催も控えて。

 昼食時、外食の場合は「新北海道スタイル」実践店で。

・研修期間中、夜の街などの繁華街には行かないようご配慮ください。

・ごみは当日中に必ず持ち帰ること（放置、会場へ捨てるなどの行為は禁止）。

・トイレに蓋がある会場の場合、流す際は蓋を閉めてから。

・体調不調となった場合は速やかに申し出ること。状況により、途中で退席いただく。

・研修期間中または研修後（その時の北海道の「濃厚接触者等の待機期間」に従う）に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、速やかにブロック事務局まで連絡を。その際、参加者全員の氏名や連絡先等の個人情報を関係機関に提出するが、ご了承を。

**【その他】**

・資料等配布は、できるだけ手渡しによる配布は避け、参加者自身で手に取ってもらう。

・濃厚接触者に関する保健所等とのやりとりは、個人情報を含むため、取り扱いには十分注意する。

・受講者より受講辞退、自粛等の申出があった場合にも、人権侵害に当たるような中傷や差別、偏見等はしない。

**【感染が疑われる方が発生した場合】**

・マスク着用させた上で隔離等を行い、人との接触をできる限り避ける。必要に応じ直ちに帰宅させ、自宅待機に。

・対応者は、マスク、フェイスシールド、手袋を着用。対応の前後に手洗いや手指消毒を徹底。

・速やかに保健所等へ連絡し、指示を受ける。

・保健所等の聞き取りに協力し、必要な情報提供を行う。